

第 12 章 評価書から修正した個所及び内容の一覧

(空白)

第12章 評価書から修正した個所及び内容の一覧

12.1 評価書から修正した個所及び内容の一覧

環境影響評価書から環境影響評価補正評価書への見直しにおける修正の内容を表 12.1-1(1)～(5)に示す。

表 12.1-1(1) 評価書から補正評価書への修正の内容

第1章 事業計画の概要	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
第2章 関係地域	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
第3章 事業特性	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
第4章 地域特性	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
第5章 方法書、準備書及び評価書に対する意見及び見解	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
(なし)	p. 5-47 (271)～5-53 (277) 5.3 評価書に対する意見及び見解 補正評価書作成にあたり追加した。
第6章 環境影響要因の把握	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
第7章 環境影響評価の項目	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
第8章 環境影響評価の結果	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
共通的变化	知事意見を受け、環境保全上の目標について、事業前の環境の状況を踏まえた検討を行い、その検討結果に基づいて変更した。
	知事意見を受け、「影響がきわめて小さい」等の定性的な表現となっているものについて、調査・予測結果を再検討し、その検討結果に基づいて変更した。

表 12.1-1(2) 評価書から補正評価書への修正の内容

第8章 環境影響評価の結果	
8.1.1 大気汚染	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
p. 8-111(399)～8-118(406) (エ) 予測手法	p. 8-111(407)～8-120(416) 知事意見をうけて弱風を考慮した予測を行ったことから、予測手法を修正した。
p. 8-128(416)～8-143(431) ア) 長期平均濃度	p. 8-130(426)～8-144(440) 予測手法の変更により、予測結果を修正した。
p. 8-144(432)～8-146(434) イ) 短期高濃度	p. 8-145(441)～8-150(446) 短期高濃度の予測結果について、濃度の変化・最大着地濃度出現地点の変化について要因を検討し記載した。
p. 8-146(434) ウ) 予測結果のまとめ	p. 8-150(446)～8-154(450) 知事意見をうけて、ダウンドラフト時について詳細に条件を変えた予測を行い、その予測結果を記載するとともに、最適な煙突高さに関する検討を行った。
p. 8-182(470) i 環境基準等	p. 8-190(486) 予測手法の変更に伴い、予測結果の値を修正した。
p. 8-183(471) i 環境基準等	p. 8-189(485)、8-191(487) 環境保全上の目標に現況から変化の大きさを設定し、それに対応する評価用の表を記載した。
8.1.2 悪臭	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
8.1.3 騒音	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
p. 8-256(544) i 環境基準等	p. 8-265(561)、8-266(562)、 環境保全上の目標に現況から変化の大きさを設定し、それに対応する評価用の表を記載した。
8.1.4 低周波音	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
p. 8-270(558) i 環境基準等	p. 8-280(576) 環境保全上の目標に現況から変化の大きさを設定し、それに対応する評価用の表を記載した。
8.1.5 振動	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
8.1.6 水質	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
p. 8-349(637) i 環境基準等	p. 8-358(654)、8-359(655) 環境保全上の目標を修正し、降水時は排水に対する目標とした。
p. 8-349(637) ii 環境保全措置等の 成功基準	p. 8-359(655) 環境保全上の目標と同様に、排水に対する基準とした。
8.1.7 水象	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
8.1.8 地盤沈下	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	

表 12. 1-1 (3) 評価書から補正評価書への修正の内容

8.1.9 土壌汚染	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
p. 8-391 (679)、8-392 (680) (イ) 予測結果	p. 8-391 (679)、8-392 (680)、 大気汚染の予測手法の変更に伴い土壌汚染の予測結果を修正した。
p. 8-395 (683) i 環境基準等	p. 8-395 (683) 大気汚染の予測手法の変更に伴い土壌汚染の予測結果を修正した。
8.1.10 日照阻害	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
8.2.1 陸上植物	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
p. 8-414 (702) 表 8. 2. 1-2	p. 8-424 (720) 植生調査の調査内容に追記した。
p. 8-415 (703)、8-416 (704)、 8-432 (720)、8-437 (725)、 8-438 (726)、 図 8. 2. 1-1、図 8. 2. 1-2、 図 8. 2. 1-6～図 8. 2. 1-8	p. 8-425 (721)、8-426 (722)、8-442 (738)、8-448 (744)、8-449 (745) 図面において、改変区域を記載した。
p. 8-419 (707)	p. 8-429 (725) 地域特性をふまえた記述を記載した。
p. 8-420 (708)、8-422 (710)	p. 8-430 (726)、8-432 (728) 植生区分ならびに植生自然度における面積及び割合を記載した。
p. 8-436 (724)	p. 8-447 (743) 植生区分における面積変化を記載した。
p. 8-440 (728)～8-447 (735)	p. 8-450 (746)～8-457 (753) 予測結果の文章内の表現について修正を行った。
p. 8-451 (739)、8-452 (740)、 8-454 (742)	p. 8-461 (757)、8-462 (758)、8-464 (760)、 一部の種について本移植個体数の設定理由や環境保全措置の目標の再検討を行 った。
p. 8-454 (742)	p. 8-465 (761)、8-466 (762) 創出環境について追記した。
p. 8-459 (747)	p. 8-472 (768) 成功基準を再検討し、個体数を追記した。
8.2.2 陸上動物	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
p. 8-466 (754)～8-470 (758) p. 8-489 (777)～8-497 (785) p. 8-523 (811)～8-525 (813) 図 8. 2. 2-1～図 8. 2. 2-9	p. 8-478 (774)～8-482 (778)、8-501 (797)～8-509 (805)、8-514 (810)～8-516 (812) 図面において、改変区域を記載した。
p. 8-507 (795)、8-508 (796) 表 8. 2. 2-23	p. 8-519 (815)、8-520 (816) 植生区分における面積変化を記載した。
p. 8-509 (797)～8-551 (839)	p. 8-521 (817)～8-563 (859) 予測結果において面積を用いて面積変化を追記し、さらに文章内の表現について も修正を行った。
p. 8-555 (843)～8-557 (845)	p. 8-568 (864)～8-570 (866) 保全対象種について本移設個体数の設定理由や環境保全措置の目標の再検討を 行った。
p. 8-557 (845)	p. 8-571 (867) 創出環境について追記した。
p. 8-562 (850)	p. 8-578 (874) 成功基準を再検討し、個体数を追記した。

表 12.1-1(4) 評価書から補正評価書への修正の内容

8.2.3 水生生物	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
p. 8-566(854)、 p. 8-582(870)～8-585(873) 図 8.2.3-1、図 8.2.3-4	p. 8-582(878)、8-598(894)～8-601(897) 図面において、改変区域を記載した。
p. 8-578(866)、8-580(868)	p. 8-594(890)、8-596(892) 保全すべき種において、ミナミメダカの在来個体群（サブクレード B-1）を保全すべき種とすることを追記し、在来個体群（サブクレード B-1）の確認状況を追記した。
p. 8-586(874)	p. 8-605(901) 植生区分における面積変化を記載した。
p. 8-587(875)～8-594(882)	p. 8-606(902)～8-614(910) 予測結果において面積を用いて面積変化を追記し、さらに文章内の表現についても修正を行った。
p. 8-598(886)、8-599(887)	p. 8-618(914)～8-620(916) 保全対象種について環境保全措置の目標の再検討を行った。
p. 8-602(890)	p. 8-624(920)、8-625(921) 創出環境について追記した。
p. 8-608(896)	p. 8-632(928) 成功基準を再検討し、個体数を追記した。
8.2.4 生態系	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
p. 8-627(915)、8-629(917)、 p. 8-630(918)、8-632(920)、 p. 8-636(924)～8-639(927) p. 8-642(930) 図 8.2.4-4～図 8.2.4-12	p. 8-650(946)、8-652(948)、8-653(949)、8-655(951)、 8-660(956)～8-663(959)、8-668(964) 図面において、改変区域を記載した。
p. 8-635(923)	p. 8-658(954) 植生区分における面積変化を記載した。
p. 8-635(923)～8-642(930)	p. 8-659(955)～8-668(964) オオタカの予測内容の項に関して構成を再検討し、より丁寧な説明となるよう修正した。
p. 8-643(931)～8-649(937)	p. 8-669(965)～8-675(971) 予測結果において面積を用いて面積変化を追記し、さらに文章内の表現についても修正を行った。
p. 8-652(940)	p. 8-679(975) オオタカの事後調査について追記した。
8.3.1 景観	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
8.3.2 人と自然との触れ合い活動の場	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
8.4.1 廃棄物・発生土	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	

表 12.1-1(5) 評価書から補正評価書への修正の内容

8.4.2 大気汚染物質・水質汚濁物質	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
8.4.3 温室効果ガス等	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
8.5.1 地域交通	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
第9章 事後調査計画	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
p. 9-3(1155)	p. 9-3(1193) 水質汚濁について、排水先水路 2 地点における pH 及び浮遊物質量の調査を追加した。
p. 9-3(1155)	p. 9-3(1193) 陸上植物について、調査時期及び調査方法を変更した。
p. 9-3(1155)	p. 9-3(1193) 陸上動物について調査方法を変更した。
p. 9-4(1156)	p. 9-4(1194) 水生生物について、調査時期及び調査方法を変更した。
p. 9-4(1156)	p. 9-5(1195) 生態系についてオオタカ、ヒバリ、ニホンアマガエル、オオタカの餌資源量調査の調査項目を追加した。
p. 9-6(1158)	p. 9-7(1197) 環境大気中の大気汚染物質（硫黄酸化物等）について、最寄りの住宅地付近 1 地点を追加した。
p. 9-6(1158)	p. 9-7(1197) 環境大気中の大気汚染物質（塩化水素 1 時間値）の調査を追加した。
p. 9-9(1161)	p. 9-10(1200) 陸上植物について、調査時期及び調査方法を変更した。
p. 9-9(1161)	p. 9-10(1200) 陸上動物について、調査時期及び調査方法を変更した。
p. 9-9(1161), 9-10(1162)	p. 9-10(1200), 9-11(1201) 水生生物について、調査時期及び調査方法を変更した。
p. 9-10(1162)	p. 9-12(1202) 生態系のうち、オオタカ、ヒバリ、ニホンアマガエルの調査方法を変更した。
p. 9-10(1162)	p. 9-12(1202) 生態系にオオタカの餌資源量調査を追加した。
第10章 対象事業に係る環境影響の総合評価	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
共通の変更	「第8章 環境影響評価の結果」の変更により更新した。
第11章 準備書から修正した箇所及び内容の一覧	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	
第12章 評価書から修正した箇所及び内容の一覧（新規）	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
(なし)	新規に作成した。
第13章 環境影響評価を行った事業者の氏名及び住所（評価書 第12章）	
環境影響評価書	環境影響評価補正評価書
変更なし	

(空白)